

科目名	メディアコンテンツ応用				英文表記		年月日
教員名：西村篤							22/10/01 作成 修正
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
メディア情報工学科	5	選択	学修	2	講義	半期	
目 標	メディアコンテンツの社会的応用について理解し、これまでに修得したコンテンツ技術を応用して、作品の企画ができるようになることを目標とする。						
高 専 目 標	(1)	(2)	(3)	(4)	JABEE プログラム名称	メディア情報工学プログラム	
					JABEE プログラム教育目標	A-3	
授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意	前半はメディアコンテンツの社会的応用、特に地域とメディアコンテンツとの関連についての事例について「風景デザイン」という視点を導入しつつ講義形式で学習する。後半は、受講生が作品の企画とプレゼンテーションを行う。						
評 価 方 法	各單元ごとに課すレポートの内容 (40%)、発表時に作成する資料の内容 (20%)、発表と質疑応答の評価 (20%) および期間中の学習について記録したジャーナル (期末レポートとして提出) の内容 (20%)、により評価する。						
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。教材としてプリントを適宜配布する。						
参 考 図 書	授業の中で必要に応じて紹介する。事前に購入すべき参考書はない。						
関 連 科 目 (学年)	メディアコンテンツ基礎 (本科1年) メディア情報工学実験1 (本科2年)						

授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容
1. ガイダンス	2	授業概要・評価方法について説明する。
2.風景デザイン (1)	2	関連する学説および事例の紹介
3.風景デザイン (2)	2	関連する学説および事例の紹介
4.地域社会とメディアコンテンツ (1)	2	関連する学説および事例の紹介
5.地域社会とメディアコンテンツ (2)	2	関連する学説および事例の紹介
6.事例研究 (1-1)	2	ドキュメンタリー作品の研究
7.事例研究 (1-2)	2	ドキュメンタリー作品の研究
8. 作品企画についての説明	2	作品の企画と発表の進め方について説明する。
9. 作品企画と発表の準備 (1)	2	企画と発表の準備を行う。授業内では主に発表用のメディア制作を行い、調査は自学自習の内容とする。
10. 作品企画と発表の準備 (2)	2	
11. 作品企画と発表の準備 (3)	2	
12.プレゼンテーション (1)	2	企画の発表を行う。資料は事前にすべて提出する。
13.プレゼンテーション (2)	2	
14. プレゼンテーション (3)	2	
15.総括	2	全体のまとめを行う。
学習時間合計	30	実時間 25

学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)

各單元ごとにレポート課題を課す。また発表準備自学自習についてまとめたジャーナルをまとめ、期末レポートとして提出することを課す。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)

通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。